



縄文中期の土坑群！京の塚遺跡現地説明会

2月11日（水）、公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センターが調査している『京の塚遺跡』（西持留）の現地説明会が開催され、町内外から約400名が参加しました。

説明会では、これまで例のない、縄文時代中期（約5,000年前）の貴重な土坑群や土器・石器などが紹介されました。

調査では、地元で作られた土器以外に近畿地方や瀬戸内地方などで作られたタイプの土器が見つかることや、県内産の黒曜石のほか大分県産・長崎県産・佐賀県産の黒曜石を使った石器が出土していることから、この地が他地域との情報・物流の拠点として存在していた可能性があるとの説明がありました。



▲京の塚遺跡は、東九州自動車道建設に伴い、平成25年10月から調査されています



フィルタリングで有害情報をブロック！家庭教育学級

2月12日（木）、大丸小学校において、家庭教育学級の閉級式が行われ、約30名が出席しました。

閉級式では、本町教育委員会管理課の松尾誉指導主事が『御用心！ケイタイ・スマホの落とし穴』と題し、スマートフォンの基礎知識、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）や本町の児童生徒の携帯・スマホ保有率の現状などの講話を行いました。

松尾指導主事は、「我が子の人生を守るのは『親の責任』なので、フィルタリング（有害サイトアクセス制限サービス）などを活用し、不必要に多くのSNSを使わせないようにブロックすることが重要です。」と話されました。



▲保護者らに講話を行う松尾指導主事



感動をありがとう！第62回県下一周駅伝！

第62回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会は、2月14日（土）、鹿児島市役所前をスタートし、53区間、588.6キロメートルを5日間にわたって県本土を駆け抜ける熱戦が繰り広げられました。

曾於チームが郷土入りをした、第4日目の17日（火）には、選手らを応援するため、多くの地域住民や小中学生が沿道に駆けつけ、声援を送りました。

5日間の総合では、始良チームが3年連続で総合優勝を果たし、曾於チームは、総合8位という結果を収めました。※県下一周駅伝は、昭和29年（1954年）に第1回大会が行われ、県下12地区対抗で健脚が競われています。



▲沿道からの声援をうける曾於チーム